



1947(昭和22)年開業の大盛況のダンスホール「ボールルーム」。

戦災を受けた大阪店高架下大食堂街跡をダンスホールに改造。1950年までの3年間営業を続けました。戦災を被ったままになっていた大阪店の難波駅ホーム下、大食堂跡地を有効活用するべく、昭和21年9月、同街のサロン食堂跡に喫茶を主とする食堂を復活したが、食糧統制強化により材料不足で数ヶ月で閉鎖。その後、流行のダンスホール経営を試みることとなった。



当初会員制ダンス教習所「高島屋ボールルーム」として22年8月15日にオープン。大きなスピーカーでレコード音楽を流し、高島屋養成の40名のダンス助教師を配して営業。

男子従業員の制服は軍隊の払い下げを染め直し、ダンサーももんぺ姿で教育を受けた。

昭和23年10月営業許可が下り、ダンスホールとして営業。

バンドマン約20名、ダンサー約100名と専属契約を結び、チケット制で一般公開した。京マチ子主演映画「地下街の弾痕」のロケで使用された。25年9月、全体が改装され売場となり閉鎖。

